

国際学士院連合総会特別記念講演会

Madeline H. Caviness 教授 講演会のお知らせ

国際学士院連合(Union Académique Internationale; UAI)の総会が日本で初めて開催されることを記念し、同連合名誉会長である米国のタフツ大学名誉教授マデリン・H・キャヴィネス博士による特別記念講演会を開催いたします。皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

参加費無料
要事前申込



Christian clergy, women, and Jews under Imperial protection, Germany c. 1370
courtesy of the Herzog August Bibliothek, Wolfenbüttel

演題

『ザクセンシュピーゲル』彩色写本における 女性とマイノリティー 英語講演(同時通訳付き)

日時

10月21日 平成29年 日 土

14:00~16:00 講演会(質疑応答含む)

16:00~18:00 懇親会

場所

日本学士院

東京都台東区上野公園7-32

申込方法

先着順
150名

インターネット

https://ez-entry.jp/uai2017_1021/entry/

電子メール uai2017@bilingualgroup.co.jp

FAX 03-3263-1264

電子メール・FAXによるお申し込みの場合は、「10/21 Caviness教授講演会参加希望」と明記のうえ、氏名・連絡先(電話番号・FAX・電子メール)・所属する研究機関(名誉教授の場合はその旨記入)をご記入ください。

【主催】日本学士院／東京大学大学院人文社会系研究科美術史学研究室

【助成】公益財団法人 鹿島美術財団

【後援】美術史学会、西洋中世学会

国際学士院連合(Union Académique Internationale; UAI)は、1919年の創設以来、各国アカデミーの参加を得て人文社会科学の共同研究プロジェクトを実施してきました。総会は世界各地で隔年に開催されますが、本年10月に日本で初めて、日本学士院を会場として開かれます。このたびの日本開催を記念して、同連合名誉会長である米国のタフツ大学名誉教授マデリン・H・キャヴィネス博士にご講演いただきます。

『ザクセンシュピーゲル』彩色写本における 女性とマイノリティー

『ザクセンシュピーゲル(ザクセンの鏡)』は1220年代にアイケ・フォン・レプゴウによって著された市民法についての著名な書物である。1300年から1370年までの間に作成された『ザクセンシュピーゲル』の彩色写本が四点現存している。その体裁はあたかも絵本のように、一ページのおよそ半分がアイケによる法についてのテキストであり、残り半分は法を執行している様子を表した人物像で埋め尽くされている。これらの写本における画像の分析からは、14世紀の間に進行した女性とユダヤ人の地位低下や、ヴェンド人のような被征服民族に対する急速な同化政策がうかがわれる。写本中の画像が、時代の流れに応じての法の解釈の変化を浮かび上がらせるのである。



photograph by Melanie Ko

マデリン・H・キャヴィネス教授

Prof. Madeline H. Caviness

1959年ケンブリッジ大学卒業、1970年Ph.D.(ハーバード大学)。米国タフツ大学助教授・教授等を経て、現在、タフツ大学メアリー・リチャードソン名誉教授、カナダラヴァル大学客員教授。国際哲学・人文学会議(CIPSH)会長、国際学士院連合会長、国際中世美術センター長、米國中世アカデミー会長等を歴任。専門は建築学、ステンドグラス、ジェンダー・女性研究。主な著書に『中世における女性の視覚化— 視ること、スペクタクル、そして視覚の構造』(ありな書房、2008年)がある。

会場へのアクセス

日本学士院 (東京都台東区上野公園7-32)

- ・JR上野駅公園口から徒歩4分
- ・京成上野駅正面口から徒歩8分
- ・東京メトロ上野駅7番出口から徒歩8分



日本学士院
The Japan Academy

問合せ先

国際学士院連合総会事務局 (株)バイリンガル・グループ内
TEL/03-3263-3850 電子メール/uai2017@bilingualgroup.co.jp